

5月のてがたんは雨のため、中止になりました。当日は館内でオオヨシキリのお話をしました。下見の観察記録からレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回5月の「てがたん」は6月8日(土)で「田んぼの生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**6月1日(土)**です。よろしく願いいたします。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→桃山公園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2013年5月4日(土) 10:00~12:00 /晴れ
- 室内会参加人数 5人(一般5人)
- 市民スタッフ(下見) 14人(石原直子、伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、木村稔、小泉伸夫、坂入奈緒美、椎谷秀衛、須貝基康、弘實さと子、藤原玉規、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3人(小田谷嘉弥、染谷実紀、村松和行)

観察記録 — 5月てがたんで観察した生き物リスト—

【鳥類】

カモ科：カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：ウミウ、カワウ/サギ科：コサギ/
 クイナ科：バン、オオバン/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：
 ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/メジロ科：メジロ/ヨシキリ科：オオヨシキリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：
 ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【両生類】

トウキョウダルマガエル、ニホンアマガエル、アズマヒキガエル(おたまじゃくし)、ウシガエル(成体、おたまじゃくし)

【昆虫・クモ】

甲虫の仲間：ヤナギルリハムシ/チョウ・ガの仲間：モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ、クロアゲハ/カメムシの仲間：
 ヨコヅナサシガメ/アリの仲間：クロヤマアリ/バッタの仲間：クビキリギス

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、ハルジオン、ハハコグサ、チチコクサモドキ、オニノゲシ/シソ科：ホトケノザ、
 ヒメオドリコソウ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、トキワハゼ/バラ科：ヘビイチゴ/マメ科：カラスノエンドウ、
 フジ(植栽)/アブラナ科：タネツケバナ、ミチタネツケバナ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/アヤメ科：ニワゼキショウ/ナデシコ科：
 コハコベ、ハコベ、オランダミミナグサ/アカネ科：ヤエムグラ/ムラサキ科：キュウリグサ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/
 ユリ科：ハナニラ/アケビ科：ムベ/ミズキ科：ミズキ(植栽)

【実】

マタタビ科：キウイフルーツ(植栽)/クワ科：ヤマグワ

5月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「鳥のさえずりと子育て」でした。下見ではホオジロやカワラヒワのさえずり、餌を運ぶツバメやカワセミなど繁殖期の行動を観察しました。またてがたんで初観察のウミウが見られました。



今月の案内人 木村稔さん



弘實さと子さん



1 民家の軒下で見つけたツバメの巣



2 歩道沿いの池で見つけたアズマヒキガエルのオタマジャクシ



3 ムベの花には花びらはなくがく片が花びらのようにみえる



4 実がキウイに似ていることから名前がつけられたキウイフルーツ



5 民家の庭で咲いていたフジ品種名は昭和紅藤



てがたん初観察のウミウ

観察したウミウには釣り糸がついていました。ウミウはカワウよりやや大きく、口角（こうかく）の黄色い部分が角張った形をしています。



5月てがたんの観察生物とルート



カワセミも子育ての季節

繁殖期になり、餌を持って斜面林の方向へ飛んでいく姿が時々みられます。おそらくどこかの土の壁に巣があるのでしょうか。



12 親水広場で見つけた満開のミズキの花



11 コガタリハムシよりやや細長いヤナギリハムシ



10 じゃれ合い？をするカワウ



8 水辺を歩きやすい大きなパンのあし指



7 実り始めたヤマグチの実すぐに鳥に食べられるかも？

今月の鳥 オオヨシキリ (スズメ目ヨシキリ科)

オオヨシキリは全国に渡来する夏鳥です。渡来したオスはヨシ原の中になわばりをつくり、大きな声で鳴きながら、なわばりを守ります。

博物館では手賀沼のオオヨシキリの生息状況を調べるため、ソングポスト（オスのさえずる場所の数）を数えています。1987～1996年までの調査では平均227カ所のソングポストをカウントしましたが、2009年の調査では46カ所と大幅に減少しました。遊歩道整備や導水事業によって手賀沼のヨシ原が減少したことが減少の要因の一つとして考えられます。



さえずるオオヨシキリ

オオヨシキリは一夫多妻で繁殖しますが環境が悪いと一夫一妻で繁殖することもある。



オオヨシキリの分布

分布図の色 夏鳥 冬鳥